

**製品名: ASF1B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07213**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ASF1B
別名	ASF1B; Histone chaperone ASF1B; Anti-silencing function protein 1 homolog B; hAsf1; hAsf1b; CCG1-interacting factor A-II; CIA-II; hCIA-II
遺伝子 ID	55723.0
SwissProt ID	Q9NVP2
免疫原	抗血清はヒト ASF1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

**背景**

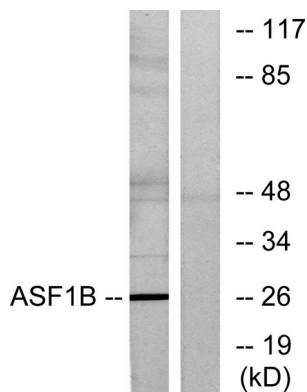
この遺伝子は、ヒストンシャペロンタンパク質の H3/H4 ファミリーのメンバーをコードし、酵母の抗サイレンシング機能 1 遺伝子に

類似しています。コードされているタンパク質は、細胞周期制御キナーゼである tousel-like キナーゼファミリーの基質であり、ヌクレオソーム組み立て部位へのヒストンの一定供給を確保することで、クロマチンのヌクレオソーム構造の調節に重要な役割を果たすと考えられます。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: ヌクレオソームの組み立てと分解中にヒストンの沈着、ヒストンの交換と除去を促進するヒストンシャペロン。クロマチン組み立て因子 1 (CAF-1) と協力し、複製依存的なクロマチン組み立てを促進します。ASF1A および HIRA によって媒介される複製非依存的なヌクレオソーム沈着には関与しません。精子形成に必要。PTM:TLK1 および TLK2 によってリン酸化される。類似性:ASF1 ファミリーに属する。サブユニット:ヒストン H3 (ヒストン H3.1 および H3.3 を含む) およびヒストン H4 と相互作用する。CAF-1 複合体の CHAF1A、CHAF1B、および RBBP4 サブユニットと相互作用する。HAT1、NASP、TAF1、TLK1、および TLK2 と相互作用する。組織特異性:精巣で高発現し、結腸、小腸、胸腺でも低発現する。

## 研究分野

-

## 画像データ



ASF1B 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。